



一人ひとりがまちづくりの主役です

広報

びらとり

4

2014

No. 634
月号

輝くびらとり未来につなごう

振内小学校入学式 (4/7)



特集	平成26年度 町政執行方針・教育行政執行方針		P2
	平成26年度 予算の概要	P5	びらとり温泉改築事業の概要 P6
	びらとりニュース2014	P9	まちなひろば P10
	食育だより	P11	教育委員会からのお知らせ P12
	すこやかだより	P16	図書館へ行こう P17

町政執行方針 (要約)

平成26年第2回町議会定例会が3月3日に招集され、川上町長が町政、松本教育長が教育行政のそれぞれ平成26年度執行方針について説明しました。

本紙ではその概要のみをお知らせしますが、詳細な全文は町ホームページにてご覧ください。



私の町政執行に臨む姿勢として、「町民が健康で豊かに安心して暮らせる町づくり」を目指して、全力を傾注してまいります。

町を取り巻く環境は一段と厳しい状況下にあります。皆様のご理解のもと町政を推進することができたことを感謝申し上げますとともに、町の財産を次の世代へ引き継ぐ最善の努力をしております。また、町政運営の指針「第5次平取町総合計画」が平成27年度に最終年度を迎え、「第6次平取町総合計画」については、住民意向の把握と十分な議論を経て、協働による策定作業を進めてまいります。

資源をいかし、生産の喜びと活力に充ちたまちづくり

【農業振興対策】農業は、厳しい状況が続く中、びらとりトマトは生産量1万3千トン、販売額も42億円を越え、関係者の努力に敬意を表するところです。

水田対策としては、経営所得安定対策と農地の維持・保全対策を推進し、農業者就農促進対策、新規参入者就農促進対策、青年就農給付金事業を推進します。畜産振興は、品質向上と自給飼料の増産、生産性の向上対策を協議し、酪農振興については、乳牛検定組合や酪農ヘルパー団体への支援を継続します。

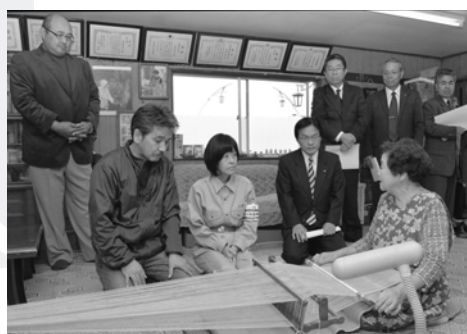
軽種馬振興は、環境整備を図るため生産者及び関係団体と協議し、ホッカイドウ競馬は、関係団体等と連携して支援を行います。

【林業振興対策】平取町森林整備計画及び森林経営計画に基づき「循環型経営」に取り組み、民有林整備については、森林所有者の負担軽減策を講じながら沙流川森林組合の支援をします。さらに、地域の森林・木材

産業の安定化を図る取り組みも引き続き実施します。

【商工業振興対策】地域ブランド商品開発への支援等、中小企業者の経営基盤強化を図り、起業家への支援制度を創設します。

二風谷イタと二風谷アツトウシが道内初の伝統的工芸品の指定を受け、さらなる産業の振興を図ります。



伝統的工芸品を視察する高橋知事

また、振内・貫気別地区の商店街活性化も、地域や団体と連携して協議します。

【観光振興】イベントを柱に観光資源を活かしたPRに努めます。また、びらとり温泉は、関連産業への波及を期待し、愛される施設となるよう運営します。さらに、交流人口増をめざし

無料シャトルバスを運行しながら、アイヌ文化の普及啓発に取り組みます。

【雇用対策】雇用の予算措置をして雇用促進に努め、また、季節労働者の通年雇用と生活安定に努めます。

【土地利用の促進】移住・定住対策として分譲宅地の造成を続ぎ実施し、町有地の有効活用を検討します。

【道路・交通機関の整備】町道整備は、荷負本村線、去場墓地高台線、本町山岸分譲線、振内市街川沿線等改良を予算措置しました。

国道整備は、振内橋架替え事業の推進と歩道設置及び局部改修等を要請します。

道路整備は、貫気別市街地の拡幅の早期完成を要請し、また、宿主別振内停車場線拡幅改良事業の促進についても要請します。

公共交通の確保は、デマンドバスを運行し、公共交通網の確立に努めます。

【情報通信の整備促進】高速通信網の有効活用が図れるよう検討します。

【町民生活の向上】町民の防犯意識の高揚に努め、関係機関と連携を図り、交通安全意識の啓発に努めます。

また、戦没者遺族会の活動も支援します。

【防災・消防・救急救助体制】 地域防災計画に基づき、防災意識の向上と、消防施設の維持管理に努めます。

【自然保護・みどり豊かな環境】 自然環境の保全に努め、景観計画を推進し、重要な文化的景観の追加選定に向けた取り組みを進めます。

【環境保全及び環境衛生】 不法投棄の防止、公衆トイレ等の維持管理に努め、循環型社会を推進します。

有害鳥獣駆除は、猟友会と連携して捕獲対策・担い手確保を図ります。

【住宅・住宅環境】 町営住宅の整備を計画的に推進し、老朽化した住宅の改修と、居住環境の改善に努めます。

移住定住対策は、交流農園の募集を行いながら、民間賃貸住宅の建設支援をする制度も継続します。

【下水道生活雑排水の整備】 配水管長期整備計画に基づき、安全で安心な飲料水の供給に努め、生活雑排水施設も適正な維持を図ります。

【沙流川総合開発事業に係る水源地域の推進】 平取ダム

アイヌ文化環境保全対策も続けて取り組みます。

【健康づくりの推進・医療機関の充実】 保健推進員制度を再開し、町民の健康づくりを推進します。また、高齢者福祉計画・介護保険事業計画に基づき、第6期高齢者福祉・介護保険事業計画を策定します。また、食育は、引き続き効果的な取り組みを推進します。

医療機関の充実は、振内診療所と併せて医療サービスの提供に努めます。また、病院の改築は、検討委員会の協議結果を設計に反映させたいと考えます。

【子育て支援対策】 安心して産み育てられる環境を整え、誕生祝い金、不妊治療助成、乳幼児・小・中学生医療費の無料化を引き続き実施します。また、保育環境の整備と平成27年度から始まる子ども・子育て支援事業計画を策定します。

【高齢者福祉対策の充実】 高齢者が健康で生き甲斐を持ちながら安心して暮らせる環境整備を進め、さらに、介護支援ボランティア事業の活動推進を図ります。

【障がい者福祉対策】 平取町障害者福祉計画に基づき、障がい者の生活支援に努めます。

【アイヌ福祉対策の推進】 アイヌ文化振興基本計画を指針として、地域資源をいかし生業に結びつき息づくアイヌ文化の継承と生活基盤の安定を目指します。

平取町の歴史風土や文化を愛する心豊かな人づくりをめざして



食育セミナーでは平取高校の生徒も披露

伝統文化を守る人づくりと人的ネットワークの形成を目指します。

【伝統文化の保存・保護】 伝承活動に多くの方が触れられ、文化及び環境資源を結びつける産業モデルを創造し、

【町民自治活動・まちづくり運動の推進】 住民が主体となり活性化を図る取り組み「町民税1%まちづくり事業」は、本年度も予算措置し、さらにアイデアを重ねた事業を期待しています。

【広報広聴活動】 町政への理解を深めるため、広報紙面の充実とホームページの全面改修を行い、また、町民との対話も引き続き定期的に開催し、町政運営に反映させていきます。

以上、平成26年度の町政執行にあたり、所信を申し上げたところです。

地方自治体を取りまく環境は、非常に厳しい時代ではありますが、職員が丸となり効率的な財政運営と効果的な住民サービスを維持し、町民の福祉の向上と、私たちの「ふるさと平取」発展のため、町民の先頭に立つて力の限りを尽くす所存です。

町民の皆様、町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。町政執行方針といたします。

町民の皆様、町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。町政執行方針といたします。



町民税1%まちづくり事業「花いっぱい運動」

【行政改革推進・財政健全化】 将来負担軽減と効率的な行政運営を図るため、総合計画、行政改革大綱を基軸として、持続可能な行政の構築に努めます。また、財政健全化判断4指標を公開し、行政と町民の役割を明確にして、協働のまちづくりに向け努力します。

【広域行政の推進】 地方分権の推進により、地域の特性を活かした独自性や、自立性が求められていますので、広域行政のあり方について、検討します。

以上、平成26年度の町政執行にあたり、所信を申し上げたところです。

地方自治体を取りまく環境は、非常に厳しい時代ではありますが、職員が丸となり効率的な財政運営と効果的な住民サービスを維持し、町民の福祉の向上と、私たちの「ふるさと平取」発展のため、町民の先頭に立つて力の限りを尽くす所存です。

町民の皆様、町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。町政執行方針といたします。

町民の皆様、町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。町政執行方針といたします。

町民の皆様、町議会議員の皆様のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。町政執行方針といたします。

平成26年度 教育行政執行方針



教育長 松本周次

はじめに

今日、教育を取り巻く社会情勢は、少子高齢化や高度情報化、グローバル化などを背景として大きく変化しています。

そのような背景において、「人と人の絆」、「ふるさとを愛する心」や「やさしく人を思いやる心」などは、本来、教育がめざす原点であるとともに、不易なものであると考え、「不易なるもの、失ってはならないものは何か」をしっかりと判断するうえで、家庭・学校・地域が共に力を合わせて、教育行政を推進します。

生きる力を育む学校

教育の推進

これまでの全国学力・学

習状況調査結果等から、生活面では、学校および家庭において継続して安定した様子が伺えるものとなつていますが、家庭学習時間、読書の時間および応用力において、課題が残っている状況にあることから、基礎・基本の確実な定着と課題解決するために必要な思考力・判断力・表現力などを育てる個に応じた指導、言語活動等の充実に努めます。

地域に信頼される学校

運営の推進

信頼される学校とするうえにおいて、学校が伝えた情報のみならず、保護者や地域住民が必要とする情報を分かりやすく提供し、互いの思いを出し合い話し合い、課題を教職員とともに共有していく取り組みが不可欠ですので、引き続き、学校評議員等からの意見を積極的に聴取する中で、信頼関係の構築に努めます。

学校教育環境の充実

学校教育における質の高い教育効果の確保と向上な

らびに教育における機会均等を保障し、安心して学べる教育環境確立のため、奨学金貸付制度の継続を図ります。

多様な学習を習得するうえで の学習機会の充実

幼児期から高齢期にいたる各期において、絶えず新しい知識や技術を習得することができると生涯学習の充実に努めます。

また、中央公民館を拠点として、前年度開校いたしました「平取町民大学」をはじめ、町民参加型の学習を積極的に推進します。



町民大学の様子

芸術・文化の向上

町民一人ひとりが芸術・文化活動への理解を深め、自主的に関わる意識を持ち続け、積極的に活動が推進されるよう、文化団体等への支援を行います。

健康・体力づくりの魅力 ある社会体育の推進

スポーツは、爽快感、達成感および他者との連帯感などの精神的な充足感や楽しさをもたらし、心身共に健康で充実した生活を送るためには欠かせないものがありますので、年齢層に合わせた体力・健康づくりの普及および振興に努めます。

文化財の保護と

活用の推進

平取町は豊かな自然と



町民マラソン大会

もに、全国的にもアイヌ文化をはじめとして、貴重な文化財とそれを取り巻く歴史的文化的環境が残されている地域です。これらの文化遺産をただ単に保存するだけでなく、文化財を通じて平取町の歴史、文化が正しく理解されるように、有効活用を図ります。

埋蔵文化財の保護と

活用の推進

埋蔵文化財からは、その土地の人々の生活、文化、技術、交流など多方面にわたる情報を得ることができ、貴重な文化財産ですので、文化財および埋蔵文化財が国民的財産であることを自覚し、公共のために大切に保存するとともに、文化的活用に努めます。

以上、平成26年度教育行政の執行に関する方針と主要な施策について申し上げます。町民の皆様をはじめ、関係各位の信頼と負託にこたえられるよう、本町の教育・文化・スポーツの振興に最善を尽くす所存です。

平成 26 年度の町予算が議決されました。
 総合計画実施計画・収支計画を基本として編成した各会計予算は、
 一般会計が総額 57 億 6,700 万円（前年度比 7.8%の減）、特別会計は
 23 億 0,261 万円（前年度比 1.5%の増）となっています。

本誌では一般会計についてお知らせします。

※別途、主要事業内容などを記載した予算概要書（簡易版）を全戸配
 布します。

平成 26 年度一般会計予算額は
57 億 6,700 万円

平成 26 年度一般会計予算額は

歳入

区 分	歳入予算額	構成比	前年比
町税	4 億 8,012 万円	8.3%	4.2%
地方交付税	31 億 0,300 万円	53.8%	1.9%
国庫支出金	4 億 6,052 万円	8.0%	30.4%
諸収入	1 億 9,437 万円	3.4%	4.5%
町債	5 億 8,310 万円	10.1%	△ 32.3%
その他	9 億 4,589 万円	16.4%	△ 29.8%
分担金・負担金	2,944 万円	0.5%	△ 10.0%
使用料・手数料	1 億 2,950 万円	2.2%	6.6%
道支出金	3 億 2,105 万円	5.6%	△ 44.6%
財産収入	7,785 万円	1.3%	41.3%
寄付金	10 万円	0.0%	0.0%
繰入金	1 億 9,975 万円	3.5%	△ 45.1%
繰越金	3,000 万円	0.5%	0.0%
その他	1 億 5,820 万円	2.7%	△ 3.9%
合 計	57 億 6,700 万円	100.0%	△ 7.8%

町税	4 億 8,012 万円
地方交付税	31 億 0,300 万円
国庫支出金	4 億 6,052 万円
諸収入	1 億 9,437 万円
町債	5 億 8,310 万円
その他	9 億 4,589 万円

歳出

人件費 議員の報酬や職員の給与など の経費	10 億 1,028 万円
扶助費 児童福祉法などの法令に基 づいた児童手当などの支給、町 が単独で行う各種扶助のため の経費	4 億 1,332 万円
公債費 道路の整備や、住宅の建設の ため、国や銀行から借りたお金 を何年かに分けて返すお金	7 億 8,984 万円
投資的経費 道路、橋、学校、庁舎など、 公共施設、公用施設の新増設の 建設事業に必要とされる、投資 的な経費	15 億 2,160 万円
物件費 賃金、旅費、交際費、需用費 など消費的性質をもつ経費	20 億 3,196 万円
補助費等 町から他の地方公共団体（道、 一部事務組合など）や民間に対 して、行政上の目的により交付 される現金的給付に係る経費	

人件費	10 億 1,028 万円
扶助費	4 億 1,332 万円
公債費	7 億 8,984 万円
投資的経費	15 億 2,160 万円
その他の経費	20 億 3,196 万円

区 分	歳出予算額	構成比	前年比
人件費	10 億 1,028 万円	17.5%	0.2%
扶助費	4 億 1,332 万円	7.2%	8.6%
公債費	7 億 8,984 万円	13.7%	△ 1.9%
投資的経費	15 億 2,160 万円	26.4%	△ 26.9%
補助事業	5 億 6,207 万円	9.7%	16.3%
単独事業	9 億 5,899 万円	16.6%	△ 39.3%
災害復旧費	54 万円	0.0%	△ 97.1%
その他の経費	20 億 3,196 万円	35.2%	2.7%
物件費	8 億 1,683 万円	14.2%	△ 1.9%
維持補修費	7,178 万円	1.2%	6.1%
補助費等	6 億 0,426 万円	10.5%	4.4%
積立金	530 万円	0.1%	△ 30.9%
貸付金	2,887 万円	0.5%	28.0%
繰出金・予備費	5 億 0,492 万円	8.8%	7.7%
合 計	57 億 6,700 万円	100.0%	△ 7.8%

多くの方が楽しみにしている新しい「びらとり温泉ゆから」
 営業は**6月16日に先行オープン**、7月1日には本格営業が開始されます。
 ここでは、これまでの温泉改築計画の経緯についてご紹介します



特集 びらとり温泉改築事業の概要

維持費の増大が課題となっていた現在のびらとり温泉は、建設から34年が経過し、近隣施設と比較して老朽化は否めない施設となっていました。また、銘石の大浴場や和牛の特産品を販売するなど独自性がある一方で、露天風呂やサウナを求める声も多くなり、現在のニーズを満たせなく入館者も減少しつつありました。そこで、町は平成21年より新しい温泉の改築について検討を始めた。

I. 計画までの経緯

町では、老人福祉センター（現びらとり温泉）の今後のあり方について検討する時期が来たとして、平成21年8月にびらとり温泉の将来構想について、コンサルタント会社を通じて調査しました。その翌年1月に報告がまとめられたところ、現在の施設は外観やデザインのみならず、配管やボイラーなどの設備の老朽化も著しいため毎年

多大な修理費用が必要になると、さらには、輸送している温泉の源泉の湧出量が減少していることもわかりました。このように、維持費が嵩み来館者も減少している現状から内部で検討した結果、施設を全面的に建て替え、新たに宿泊施設も整備する計画として、平取町総合計画（注①）に đăng載しました。

II. 改築計画の審議

まずは、町議会の常任委員会への報告が行われ、後に総合計画審議会での審議や議会全員協議会への説明が行われ、平成23年3月に議会議員・団体有識者・町関係者を含めた「平取町老人福祉センター（びらとり温泉）改築事業検討委員会」が立ちあげられ、宿泊事業の必要性も含めて活発に議論がされました。そして、検討委員会において慎重に議論を行うとともに、町内各地域において

注① 平取町総合計画（第5次計画 H18～H27）

町の将来構想と計画期間中（10年間）に実施する各分野での事業を掲載した町政の指針となる基本計画。平取町では、投資的事業を行うには内容や事業費を総合計画に đăng載し、団体や住民有識者で構成される「総合計画審議会」に諮ることを原則としている。

現在は第5次総合計画として27年度までの計画が進められ、今年度から第6次となる総合計画の策定が進められる。



玄関ホールイメージ

びらとり温泉改築計画の経緯

平成23年3月28日	温泉建設検討委員会	第1回会議
平成23年4月8日	第2回検討委員会	
平成23年5月12日	第3回検討委員会	
平成23年6月30日	第4回検討委員会	
平成23年8月25日	第5回検討委員会	
平成23年10月24日	第6回検討委員会	
平成23年11月10日	第7回検討委員会	
平成23年11月26日	第8回検討委員会	
平成23年12月21日	総合計画審議会	
平成23年12月19日	びらとり温泉改築事業説明会(本町)	
平成23年12月26日	"	(貫気別)
平成23年12月20日	"	(振内町)
平成24年1月10日	"	(荷葉)
平成24年1月11日	"	(紫雲古津・川向)
平成24年1月12日	"	(二風谷)
平成24年1月13日	"	(去場)
平成24年1月17日	"	(小平)
平成24年1月18日	"	(荷負)
平成24年2月3日	第9回検討委員会	

※各種会議の議題の中に含めて行った説明は除く

Ⅲ. デザインの選考

デザインは重要であり、多くの方に利用して頂くためには、再来したくなる洗練されたデザインが望まれました。このことから、デザインする設計事業者がデザイン案を作成してプレゼンテーションを行い、選考委員の評価点が最も高いものを選ぶ方法で選考されました。

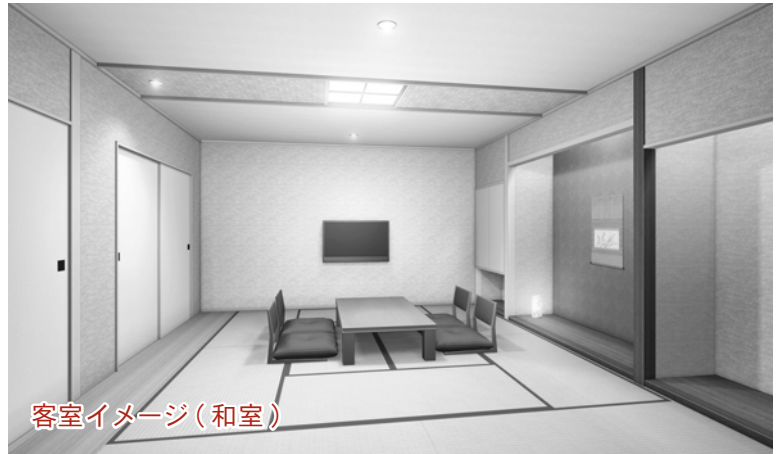
温泉改築事業説明会を実施した結果、検討委員会で最終的に温泉施設の改築と新たに宿泊施設を建設するという結論に至りました。

Ⅳ. 事業費の変化

え事業費は当初積算より増加していますが、これは給湯配管の効率化のため機械室を地下に変更、また、顧客ニーズを考慮し、防音性向上のため木造から鉄筋コンクリートへ変更、客室露天風呂

選考されたデザインは、周辺の自然環境との調和や明るさと解放感の演出、ファミリールームとの一体感、アイヌ文様を取り入れた独自性、永続性の見込みがあるものとして評価されたデザインに決定されました。

と冷暖房を追加整備とした増加となりました。さらに、近年の建築業の労務費や資材単価高騰も事業費増加の要因となりました。この事業の財源としては当初、国や北海道からの補助金を予定していましたが、補助金を充当することができず、基本設計どおりに整備が進まなくなることが懸念され、財源として建設条件などに制約の少ない過疎債(注②)を主な財源としました。



客室イメージ(和室)

事業費の内訳

事業費(千円)※千円未満は四捨五入	
施設本体工事	999,380
施設外構工事	29,925
揚湯設備工事	33,936
工事管理委託費	12,915
備品購入費	39,998
合計	1,116,154



客室イメージ(洋室)

財源の内訳

財源(千円)	
一般財源	34,954
過疎債(※注②)	1,081,200
合計	1,116,154

注② 過疎債(過疎対策事業債)

過疎地域に該当する市町村に限り発行が認められる地方債(国などからの借金)。元利償還金の7割が普通交付税の額を決定する場合の算定基準に算入され、地方交付税として市町村に交付される。

V. 運営と施設管理者

新しいびらとり温泉は、現在の温泉を昨年4月から運営している指定管理者「株式会社アンビックス」が引き続き運営する予定となっております。この会社は、北海道内の1箇所です。ホテル事業を行う豊富な経営ノウハウと実績があり、より一層利用者のニーズに対応できるよう準備が進められています。さらに、黒字化が難しい現在の施設



浴場イメージ



露天風呂イメージ



レストランイメージ

※新施設では65歳以上入浴料100円の制度は廃止となります。代替制度として年間24回分の無料回数券を65歳以上の方を対象に町で交付する予定です。詳しくは、まちだよりにてお知らせします。

VI. 観光と連携

平取町の観光は、これまで「通過型観光」と言われていましたが、新しいびらとり温泉が宿泊業を始めることで

設では多額の指定管理料がかかっていますが、新びらとり温泉では不要となる取り決めとなっており、これまで町負担であった維持経費が大きく削減できることにもなります。

「滞在型観光」に変わる事が期待されています。また、昨年に北海道初の伝統的工芸品の指定を受けた二風谷イタ・アットウシと関連させた観光振興によって交流人口の増加も見込まれます。さらに、北海道内外はもとより国外からの誘客も視野に入れ、町への波及効果をもたらす観光の拠点施設となる事が期待されています。

新温泉のポイント

- 露天風呂新設
- サウナルーム新設
- 宿泊業務の開始
- 施設の年中無休化
- 露天風呂付宿泊室
- 露天風呂付家族風呂
- 休憩室の新設
- アイヌ文様デザイン導入
- バリアフリー対応
- インターネット対応
- 太陽光発電設置

びらとり温泉ゆから 施設概要

敷地面積：15,716㎡ 建築面積：2,526.169㎡ 建物構造：鉄筋コンクリート造 駐車場：57台
 休憩室1、研修室1(分室可)、レストラン1、売店1、バーベキューテラス1、キッズコーナー1
 宿泊室：和室8室(露天風呂付2室)、洋室4室(露天風呂付1室)、和洋室3室 ※最大60名
 浴場泉質：弱アルカリ性高張性冷鉱泉 泉温：12.1℃ 湧出量：30リットル/分
 浴場設備：露天風呂、水風呂、低温泉(ジャグジー)、高温泉、炭酸泉、サウナ、家族風呂
 入浴料：日帰り 大人(中学生以上)420円、子供(小学生)140円、幼児無料
 宿泊料：指定管理者が宿泊プランの内容により決定
 営業開始：6月16日プレオープン(先行営業)、道7月1日グランドオープン(本格営業)
 予約受付：4月27日より受付(びらとり温泉 ☎01457-2-3280)

補助・融資

意欲を持って産業振興を図る事業を行う個人や団体を支援します

地場産業振興対策補助・融資制度

町の特産品を活用して実施する事業経費の補助や、地場産業の振興に繋がる試験研究費や設備資金の融資が受けられます。対象となるには条件などがあるため、まずはご相談を。

補助制度		融資制度	
補助対象事業	(1)試作、試験研究に要する経費 (2)市場調査に要する経費 (3)生産技術に関する調査に要する経費 (4)技術者等の養成に要する経費 (5)特産品消費拡大のため、新たな設備の導入等に要する経費	融資対象	(1)農林水産等の資源の有効活用を図るための加工等町の事業 (2)地域の特性を活かした産業振興事業 (3)その他産業振興上必要と認められた事業 (4)地域の振興発展に必要な事業で、事業を開始するために必要な経費
の特産品	「びらとりトマト」及び「びらとり和牛」	資金使途	産業振興を図るため、地域の特性に根ざした地場産業の振興及び地域の活性化を推進しようとする団体及び個人に対し、試験研究及び設備並びに事業開始に要する経費
採択要件	(1)地場産業の振興に積極的な意欲をもっているもの (2)農林水産物等の資源を活用した製造加工等の産業を開発・育成しようとするもの (3)地域経済の活性化に寄与されるもの	1件当り貸付額	3,000万円以内
補助の条件	(1)試験研究等に対する補助は、1事業につき1回とする。 ※継続して試験研究等をしなければならないものについてはこの限りでない。 (2)補助率は、補助対象事業の(1)~(4)の経費については80%以内、(5)については2分の1以内とし、補助額は100万円を限度。	貸付期間	設備資金10年以内（うち据置2年以内） 事業開始資金5年以内（うち据置1年以内）
		貸付利率	3.3%
		保証人・担保償還方法	金融機関との約定による
		町の利子補給	本要綱及び市中金融機関から融資を受けた資金に対し5%以内の利子補給。融資の際の保証料について保証協会の保証付の場合は、保証料相当額を補助する。
		融資機関	市中金融機関

※申請件数などの状況により補助金の限度額が変更となる場合があります。

※審査の結果、補助及び融資を受けられない場合があります。

問合せ先：産業課商工観光係 (☎ 2-2223)

新採用職員

信頼と住みよい町づくりを目指して

平成26年度新採用職員のご紹介

4月1日付けで新採用となった職員5人を紹介します。

一日も早く職場環境に慣れ、町民の皆さんのお役に立てるよう頑張りますので、よろしくお願いいたします。



保健福祉課
保健推進係
かとう ひとみ
加藤 ひとみ



保健福祉課
保健推進係
さわむかい としゆき
澤向 駿志



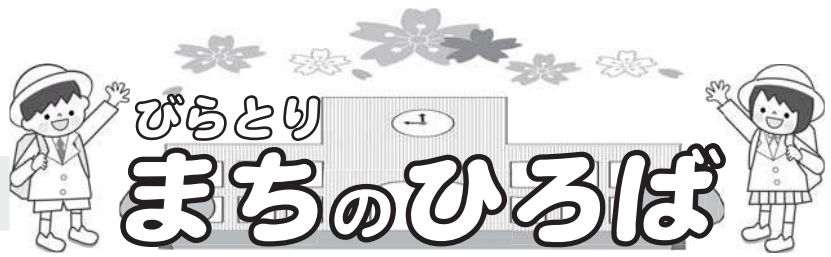
町民課
住民年金係
つがわ みさき
津川 美沙希



生涯学習課
社会教育係
とみやす ひろき
富安 寛樹



まちづくり課
財政係
みうら ゆうや
三浦 優也



井戸端寺子屋会議 in 平取 (3/3)

井戸端寺子屋会議 in 平取が岩知志ふれあい館で行われました。

この行事は札幌市立大学デザイン学部が主催となっており、講演会では、福岡県東峰村の方を招き「東峰村の魅力伝える、観光の挑戦」と題し、観光まちづくりや婚活の取組のほか、東峰村に古くから伝わる伝統工芸品の「小石原焼」についての講演が行われました。

講演の後には、参加した札幌の大学生による鹿の革を活用した商品開発についての試みが発表されていました。

北海道消防操法訓練大会
平取消防団 団結式 (4/4)

日高管内代表として北海道消防操法訓練大会に出場する平取消防団の団結式が、消防平取支署で行われました。

この大会は消防団員の技術向上・士気高揚を目的に毎年開催されているもので、小型動力ポンプを使用して約60m先にある標的を放水にて倒す一連の操作について、隊員の節度や標的を倒すまでのスピードなどが審査されます。

全道大会は7月18日に江別市の北海道消防学校で行われます。



交通安全愛の鈴贈呈

今年も商工会女性部の皆さま手作りの「交通安全愛の鈴」が、新1年生50人にプレゼントされました。

ドライバーの皆さま、交通安全にご協力よろしくお願いいたします。

※平成26年度新入生※

紫雲古津小学校	3人	
平取小学校	25人	
二風谷小学校	4人	
貫気別小学校	6人	
振内小学校	12人	計50人



よい食一生 ● 食育だより

保健福祉課 保健推進係 No.4

6月は『食育月間』・毎月19日は『食育の日』

★和食ってすばらしい★

♪旬の味♪ ～山菜の季節ですね～

“こごみ”の塩昆布和え

[材料] (2人分)

こごみ 8～10本程度

塩昆布 適宜



[作り方]

(1)こごみはよく水洗いし、熱湯に塩を入れゆでる。

(2)食べやすい長さに切り、塩昆布で和える。

よい食一生 ニュース

(昨年12月、『和食；日本人の伝統的な食文化』と題して、ユネスコ無形文化遺産に申請し登録が決定しました。

同じく昨年「富士山」が登録された世界遺産は、建築物や自然などの有形のものを対象としているのに対し、「無形文化遺産」は、芸能や伝統工芸技術などの形のない文化であって、土地の歴史や生活風習などと密接に関わっているものを対象としています。

登録申請にあたり、政府は『和食；日本人の伝統的な食文化』の特徴的を4つに分け表現しました。

その1：多様で新鮮な食材とその持ち味の尊重

日本の国土は南北に長く、海・山・里と表情豊かな自然が広がっているため、各地で地域に根差した多様な食材が用いられ、また、素材の味わいを活かす調理技術・調理道具が発達しています。

その2：栄養バランスに優れた健康的な食生活

一汁三菜を基本とする日本の食事スタイルは、理想的な栄養バランスと言われ、また、「うま味」を上手に使うことによって動物性油脂の少ない食生活を実現しており、日本人の長寿、肥満防止に役立っています。

その3：自然の美しさや季節の移ろいの表現

季節の花や葉などで料理を飾りつけたり、季節に合った調度品や器を利用したりなど、季節感を楽しみます。

その4：正月などの年中行事との密接な関わり

自然の恵みである「食」を分け合い、食の時間を共にすることで、家族や地域の絆を深めてきました。最後に、『守る・育てる・繋げる、まずは、知ること、実践すること…それが小さな、だけど大事な一歩です。』とまとめられています。

ニシパランチ保育所 第2弾!!

“ニシパランチ保育所”は、町内の保育所に通う子どもたちに、平取町でとれた食材や加工品を取り入れた給食を食べてもらい、より地元食材を身近に感じ、関心を持ってもらう事を目的として、平成23年度より開始している食育推進事業です。平成25年度はへき地保育所へのおやつ提供も加え、年2回開催されました。

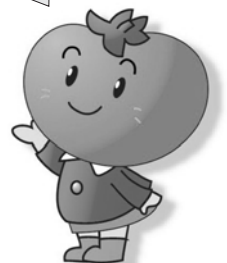
6/25年度の第1弾は、昨年10月に平取かぼちゃを使った「ドライカレー」と、へき地保育所へは「トマトアイス」が提供され、第2段は、年明け2月5日に常設保育所4施設、同月14日にへき地保育所2施設において実施され、5日に二風谷保育所で試食会が開催されました。

常設保育所では「黒豚トンカツ」「寒締めほうれん草のポパイサラダ」とみそ汁、平取産米白飯(ななつぼし)、デザートにニシパの恋人トマトジュースを使ったプリンが提供され、へき地保育所へは同じデザートが提供されました。



二風谷保育所での試食会の様子

早寝・早起き・朝ごはん
は元気の基本!!



教育委員会からのお知らせ

小・中学校教職員 20 人に辞令交付

3月4日、平成26年度平取町教職員辞令交付式が行われ、新たに異動のあった20人に辞令が交付されました。

交付式にあたり、教育委員長挨拶では、新しい時代の義務教育を創造する優れた教師として「教職に対する強い情熱」「教育の専門家としての確かな力量」「総合的な人間力」を発揮して子どもたちの可能性を開く創造的実践を進めるよう期待が述べられました。



【前列左から】片桐 渉教諭（二風谷小）、柿崎雄二教頭（平取小）、泉山浩幸校長（平取小）
河村克也教頭（平取中）、矢口 学教諭（振内中）
【後列左から】遠藤久仁教諭（振内小）、小関雅史教諭（平取中）、幸田泰嗣事務職員（貫気別小）
藤岡 遼教諭（平取中）、青木克磨教諭（貫気別小・二風谷小・紫雲古津小）



【前列左から】中村範子教諭（平取小）、日高昌子養護教諭（平取中）、古賀敏江教諭（二風谷小）
村上和子養護教諭（振内中）、溝端圭子教諭（二風谷小）
【後列左から】豊岡節子教諭（紫雲古津小）、石川純子教諭（平取小）、及川 愛事務職員（振内中）
小平一美教諭（平取中）、萩澤志穂里教諭（貫気別小）

『いのちの授業』でいじめや自殺を考える

5月3日4日、平取小学校では、北海道文教大学教授の福井雅英氏をゲスト・ティーチャーに迎え、5学年・6学年を対象に『いのちの授業』が行われました。

福井教授が示した、いじめを受けて自殺した中学生の遺書（新聞記事）を読んで、子どもたちは「いじめられていることを隠さず誰かに言った方が良かった」「言えない気持ちもわかる」「お兄ちゃんに『死ぬ』って言われたりするけど、それを友達に言われたら本当にショック」などの意見交換をしました。

福井教授はそんな子どもたちに「いのちの危機を感じる時、困った時は誰にでもいいから言えるようにあってほしい」「‘人の役に立てた’‘生きていて良かった’と思える時を持ってほしい」と語りかけました。

寄せられた感想には、「こういうことになったら、ぼくもこうなっているのかもしれないなあと考えた」「いじめは、やる方は軽い気持ちでも、やられる方はすごいショックを受ける。何があっても絶対にしてはいけない」「いのちの大切さや‘生きてて良かった’ということ改めて感じましたし、前を向いて一日一日を大切に生きていきたい」など率直で真摯な思いが綴られていました。

また、授業後の話し合いでは、子どもたちの言葉や表情を振り返りながら、「いじめ・自殺が突きつける課題を学校・教員はどう受けとめるか」「子どもの心身や環境の状況を適切に理解し、支援できる実践をどのように進めたら良いのか」について真剣な討論が行われました。



福井教授（上）と
資料を読んで考える子どもたち

新たなスタートをする子どもたちに希望を与える声かけを

新年度が始まった節目の4月、新入学や進級を迎えた新しいクラスでは、誰もがドキドキしながら学校生活をスタートさせたところですが、その新鮮な環境・緊張は新たな成長への扉です。

まずは、気持ちよく一日を送ることができるように、家庭でも子どもと一緒に日常生活を振り返り、自らの生活を見直すことができる機会を持つことが大切です。

同時に、強くたくましく未来を生き抜く力を磨くための「しつけ」をきちんとして「自分で解決方法を考え、行動させる」ことも必要です。

「よく学ぶ」と同じく「よく遊ぶ」ことも忘れてはなりません。遊ぶことによって学び、発見、成長できる、遊びは子どもにとって人生のすべてを教えてくれる宝箱であり、「ドラえもん」の四次元ポケットのようなもの。そして、遊べる友達の有無が学校生活の満足度に。

よい意味でのドキドキは、新しい自分に挑戦するワクワクでもあります。この新しいスタートが、子どもにとって期待や希望となるような、そんな声かけを大人はしてあげてください。

お困りのことがありましたら相談を

お子さんの学校生活について悩みや不安、お困りのことがありましたら、まずは学校（先生）に相談してください。また、教育委員会でも「さわやか相談室」（TEL 2-2619）を設置しています。

他にも日高教育局教育相談電話（0146-22-1325）、道立教育研究所教育相談電話（0120-3882-56〈毎日24時間〉、0120-3882-86）、メール相談アドレス（doken-sodan@hokkaido-c.ed.jp）のような相談機関がありますのでご利用ください。

教育委員会からのお知らせ

修了式を迎えました ～平取町民大学～

3月22日、平取町民大学第10回講座および修了式を行いました。「いつでも、どこでも、誰でもが楽しく、かつ幅広い知識や技術の習得をめざす」ことを目的に、昨年7月に開設し、まちづくり、歴史、政治、健康等の講座を開講し聴講生を含め延べ428人の出席がありました。



学生代表あいさつ



講座の様子

修了式では、全10回の講座中7割以上出席した学生20人に対し修了証が授与され、最後に学生を代表して根本幸子さんから、講座で学んだこと、楽しかったこと、驚いたこと等の感想が述べられました。

なお、平成26年度は、さらに内容充実させ実施してまいりますので、多くの町民の入学を期待致します。

世界最大級の作品と管内有名画家の油絵を鑑賞してきました ～わくわく感動体験ツアー～

3月8日、人づくり事業実行委員会主催「わくわく感動体験ツアー」で、新冠町と浦河町の2カ所を見学してきました。

浦河町出身の画家である伏木田光夫ふしきだみつおの作品が数多く展示してある伏木田美術館では、作者の独特のタッチで描かれた肖像画や風景画が展示されていました。

また、新冠町の廃校をリニューアルしたディマシオ美術館は、来館者が快適に過ごすことができるようバリアフリー構造となっており、旧体育館にある高さ9メートル、横幅27メートルにも及ぶ世界最大級の油彩画に、参加者たちは感激していました。



新入学児童に防犯ブザー贈呈



日野口副会長から、貫気別小学校新入学児童へ贈呈

町自治振興会（福澤一光会長）では、町内新入学児童にランドセルに付けることの出来る、防犯ブザーをプレゼントしました。

毎年、入学式に合わせ、学校、家庭、地域で事件の未然防止と子どもの安全確保のために贈っており、入学式では、さっそく付けている様子が見られました。

地域で、児童の見守りのご協力をお願いいたします。

ミニバレーボール「初の全町大会」を開催！



貫気別町民センターで行われた第1回大会

3月23日、町体育連盟主催による「第1回全町ミニバレーボール大会」が貫気別町民センター競技場で開催されました。今回が初となるこの全町大会は、3地区持ち回りで開催し、開催地区のルールで行います。貫気別地区で開催された今大会には本町地区から3チーム、貫気別地区から4チームが参加し交流を深めました。

第2回大会は本町地区を予定していますので、是非参加して下さい。

☆ 優勝 ヘカトンケイル（本町）

「運動不足」を感じているあなたへ ～思い立ったら3分間～

皆さんは、毎日体を動かしていますか？何もしないでいると筋肉は細く関節は固くなる一方で、なおさら運動量が減ってしまい悪循環ですよ。健康維持には運動を続けることが必要だとわかっているけど、ウォーキングは外が寒いとか、家に運動器具がないとか、そんなに時間がないとか…第一歩が踏み出せない人は多いと思います。

そこで、運動不足の人に特に最適な全身運動としておすすめしたいのが、皆さん子どもの頃など一度はしたことのある「ラジオ体操」です。ラジオ体操

第一をひととおり行う（約3分）だけでも、「有酸素運動」

「筋トレ」「ストレッチ」「バ

ランス運動」と総合的な運動ができるしくみになっていて、第二まで行うと6分30秒程で約25kcalのカロリー消費が見込まれ、これは早いペースのウォーキングと同程度の運動量です。また、血流がよくなるので、肩こり予防など色々な改善効果につながります。

スマートフォンなどの動画サイトでも視聴できますので、物は試しで3分間、久々にやってみてはいかがでしょうか。



「ラジオ体操」 おすすめポイント

- ⇒ 屋内でもでき、天候に左右されない
- ⇒ 道具がいらぬ
- ⇒ 3分あればできる
- ⇒ 全身まんべんなく動かせる
- ⇒ 意外とカロリーを消費する
- ⇒ 肩こり予防、血流促進、便秘解消
- ⇒ 動きを意識するとさらに効果的

体育館 日曜日開放のお知らせ

今年度も、町民体育館・振内青少年会館・貫気別町民センターの各体育施設を第2と第4日曜日に開放していますので、どうぞご利用下さい。

開放日時 第2・第4日曜日 9:00～15:00

目指せ!!はつらつ健康

すこやかだより

Health Information

**こちらは
保健推進係です!**

春本番、新学期や新生活が始まった今日この頃、みなさんいかがお過ごしでしょうか?

保健推進係は、みなさんが健康な生活を送るために様々な事業を用意させていただいています。また、『すこやかだより』を通してみなさんの健康な生活に役立つ情報を提供させていただきたいと思えます。

【平成26年度保健推進係事業予定】

6月	5月
両親教室①②③(5・12・19日) 乳・子宮がん検診「札幌」(6日) 結果説明会(特定健診・がん検診)(25・26日)	シニアエプロン(上旬頃) はつらつウォーキング(12日) 特定健診・がん検診(16・18日) 乳幼児健診(27・28日)

11月	10月	9月	8月	7月
シニアエプロン(上旬) はつらつウォーキング(10日) 特定健診・がん検診(10・14日) 乳幼児健診(29・26日)	両親教室①②③(2・9・16日) はつらつウォーキング(5日) すくすくクラブ(15日) 子宮がん検診(24日) 食育セミナー(下旬頃)	シニアエプロン(上旬) はつらつウォーキング(8日) 地場産品の料理教室(下旬頃)	キッズ料理教室(上旬中旬頃) はつらつウォーキング(11日) 乳幼児健診(26・27日)	シニアエプロン(上旬) 歯科健診・フッ素塗布(上旬頃) はつらつウォーキング(14日) すくすくクラブ(16日) 結核検診(28・8月1日)

3月	2月	1月	12月
乳幼児健診(24・25日) 男のエプロン教室(上旬中旬頃) はつらつウォーキング(9日)	シニアエプロン(上旬) 特定健診・がん検診(11日) 乳幼児健診(24・25日) 両親教室①②③(5・12・19日) はつらつウォーキング(9日)	乳・子宮がん検診「札幌」(4日) 両親教室①②③(5・12・19日) はつらつウォーキング(9日) すくすくクラブ(21日) 歯科健診・フッ素塗布(上旬頃)	はつらつウォーキング(8日) 結果説明会(17・19日)



※日程は前後する可能性がありますので、まちだより等でご確認ください。

【問合せ先】
 保健福祉課 保健推進係
 (ふれあいセンター1015号室)
 ☎4・6112
 お気軽に
 お問い合わせください。



- 身体計測・育児相談
 ● 不妊治療費助成事業
 ● 健康相談・血圧測定・身体計測
 ● 訪問リハビリ(年5回)
 ● 健康教室・歯科教室(依頼)
 ● 介護予防教室(11月・2月頃を予定)
- 乳幼児予防接種(※予約のみ)

その他事業について
 保健推進係では左記の事業を行っております。
 ● 母子手帳・妊婦一般健康受診票の交付
 ● 新生児訪問
 ● 乳幼児予防接種

図書館へいこう 平取町立図書館

ふれあいセンターびらとり・3階

○開館時間 火～金曜日 10:00～18:00 土・日曜日 10:00～17:00
 ○休館日 月曜日・祝日 ※月曜日が祝日の場合は、その翌日も休館。
 TEL 4-6666 FAX 4-6871 E risu2@guitar.ocn.ne.jp



新着図書のお知らせ

【小説・エッセイ】

『豆の上で眠る』／湊かなえ
 『満願』／米澤穂信
 『冬の昴』／あさのあつこ
 『さいごの毛布』／近藤史恵
 『師父の遺言』／松井今朝子
 『バベル』／福田和代
 『無縁旅人』／香納諒一
 『スペードの3』／朝井リヨウ
 『仮面同窓会』／雫井脩介
 『ジェームズ・ボンドは来ない』
 ／松岡圭祐
 『患者よ、お前がいなくなって淋しくて
 たまらない』／伊集院静



【家庭・生活・趣味】

『おしゃれで楽しいかごとバッグ』
 ／松田裕美
 『はぎれの手作りちっちゃな手作り』
 ／パッチワーク通信社
 『おいしさのコツが一目でわかる
 基本のパン』／石澤清美
 『図解年収 200 万円からの貯金生活
 宣言』／横山光昭



【社会・経済・その他】

『不屈の翼 カミカゼ葛西紀明の
 ジャンプ人生』／岡崎敏
 『脱ネット・スマホ中毒』／遠藤美季
 『防災ピクニックが子どもを守る!』
 ／MAMA-PLUG
 『夢をあきらめなければ宇宙にだって
 行ける』／星出彰彦



町内アイヌ語地名研究の集大成 ついに完成！ぜひご覧ください

このたび「シシリムカアイヌ語地名研究会」
 (盛昭夫代表) から、「シシリムカのアイヌ語
 地名研究」を図書館に寄贈していただきました。

町内各地区に残るアイヌ語地名について、詳
 細に解説が施されており、完成まで 14 年の歳月
 がかけられた労作です。地域の貴重な資料とい
 うことで、皆様にもぜひご一読いただきたいと
 考え、館内の郷土資料コーナーに展示してお
 ります。(貸し出しもできます)

なお、地名研究は今後も続けられ、成果がま
 とまり次第、追加がなされる予定ということ
 です。

販売もさ
 れていると
 のことです
 ので、ご希
 望の方は、
 図書館まで
 ご連絡をお
 願います。



図書ワゴン (移動図書館車) 運行日程【5月】

8日(木) 【貫気別地区】

10:45～11:15 荷負 遠藤和江さん宅前
 2 11:30～12:00 貫気別生活館
 13:15～13:45 芽生生活改善センター
 14:00～14:30 旭生活館

9日(金) 【振内地区】

11:00～12:00 山の駅ほろしり館
 13:15～13:45 岩知志ふれあい館
 14:15～14:45 豊糠生活改善センター

- 利用者カードがなくても、ご利用できます。
- 貸出期間は、**次回の巡回日まで**になります。
- 本の返却、不用な本のご寄贈も受け付けます。

5月の休館日

3・6・12・19・26日

6月の休館日

2・9・16・23・30日



今月のワンジョット



■交通事故死ゼロを目指す日 (4/10)

「ストップ・ザ・交通事故～めざせ 安全で安心な北海道～」をスローガンに平取町から事故を無くしましょう。

まちの人口と世帯数

人口	5,488人	(△70)
男	2,671人	(△41)
女	2,817人	(△29)
世帯数	2,639世帯	(△625)

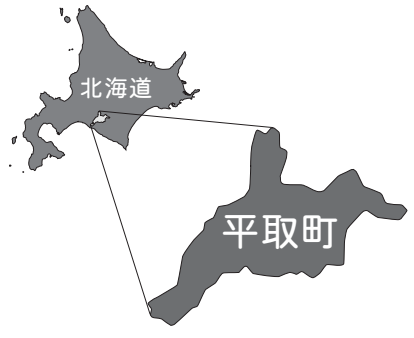
()内は前月比 3月末現在

交通事故発生状況

発生件数	2件	(42)
死者数	1人	(△)
傷者数	1人	(昨年)

()内は前年比 3月末現在

死亡事故ゼロ日数	62日
----------	-----



すずらん短歌会詠草

時間さえ凍りつき さうな北の地で 寡黙な春と背な丸め居る	「パチパチ」と薪は ぜる音友にして 暖かい部屋で短歌詠む 幸せ	真央ちゃんのシヨートの舞 いに胸いたむ オリソピットは魔物が いるらし	鬼が待つ温泉に向かうバス 二台 見慣れし仲間は輝いて おり	誰よりも胸に秘めつつ万歳の 葛西選手のメダルが光る	振りかえれば夫逝きし年に 生まれきし 孫は今春教師になると いう
熊谷 厚子	石川原 多満代	中原 千鶴子	高橋 洋子	相田 のぶ子	中沢 三二子

役場関係電話番号

- 平取町役場 (本庁)
 - 総務課(代表) ☎2-2221
 - まちづくり課 ☎2-2222
 - 産業課 ☎2-2223
 - 税務課 ☎2-2224
 - 出納室 ☎2-2225
 - 建設水道課 ☎2-2226
 - 議事事務局 ☎2-2227
 - アイヌ施策推進課 ☎2-2341
 - 農業委員会・土地改良区 ☎2-2695
- ふれあいセンターびらとり ☎4-6111
- 保健福祉課 ☎4-6112
- 町民課 ☎4-6113
- 児童館 ☎2-3026
- 子ども発達支援センター ☎2-3400
- 地域包括支援センター
「ほほえみ」 ☎2-3700
- 平取町社会福祉協議会 ☎4-2267
- 図書館 ☎4-6666

- 平取町教育委員会
 - 中央公民館 ☎2-2619
 - 町民体育館 ☎2-2749
 - 二風谷アイヌ文化博物館 ☎2-2892
 - 沙流川歴史館 ☎2-4085

- 役場振内支所 ☎3-3211
- 役場真貫別支所 ☎5-5204

- 平取町国民健康保険病院 ☎2-2201
- 平取町外2町衛生施設組合 ☎2-2024
- 日高西部消防組合平取支署 ☎2-2361

平取町公式ホームページ



QRコード

発行／平取町総務課広報広聴係 ☎055-0192 北海道沙流郡平取町本町28番地 ホームページ <http://www.town.biratori.hokkaido.jp> Eメール info@town.biratori.hokkaido.jp ☎(01457)2-2221 FAX (01457)2-2277